

マツダ冷間鍛造技術ニュース



皆さんこんにちは！冷間鍛造のマツダ、業務部の深水です。毎月皆様に、開発・設計のお役に立つ冷間鍛造技術についてお伝えして参りますね！

さて私は、ものづくりはもちろんですが、大学で考古学を学んでいたこともあって、歴史が大好きです！

ちなみに、一番好きな寺社仏閣は奈良の薬師寺。特に東塔が美しいですね。ぜひ当社にお立ち寄りいただき、少し足を伸ばして奈良まで行かれるのはいかがですか？

それでは今月の冷間鍛造技術ニュースをお伝えしますね。



私の好きな薬師寺！

ニュース① 異形状・異材質の冷間鍛造品ならマツダにお任せください！



材質：アルミ
サイズ：21×22
用途：産機部品
ロット：500個



材質：鉄
サイズ：15×10×6
用途：自動車部品
ロット：10万個

例えば左の2つのワークをご覧ください。ツバ+短小形状や薄肉形状など、あるいは異形状部品など、今までは「冷間鍛造じゃ無理・・・」と あきらめていた形状でも、ぜひマツダにご相談ください。従来は冷間鍛造への置き換えが困難で、コストのかかる切削加工あるいは焼結加工で行っているワークも、冷間鍛造への置き換えが可能となり、大幅コストダウンが可能になるかもしれません。

特に左側のワークをご覧くださいいただきたいのですが、こちらの材質は冷間鍛造が一般的に難しいと言われるアルミです。かつロット500個という超小ロットでの対応事例です。

あらゆる冷間鍛造への置き換えのご相談は、ぜひマツダまでお気軽にお願い申し上げます。

ニュース② なぜマツダは小ロット鍛造が可能なのか？

マツダは冷間鍛造でありながら、なんとロット500個からの小のロット対応が可能！なぜそんな小ロット対応が可能なのかというと、それは冷間鍛造用の金型を設計・製作まで内製しているからです。

多くの冷間鍛造メーカーが金型は外部から購入しているケースが多く、そうするとコスト的に小ロットを成り立たせることが難しくなります。また前述の様な異形状ワークなど、構想・テストが可能なワークでも、容易に取り組みするというメリットがあるのです。



当社保有マキノ5軸MC

ニュース③ マツダの冷間鍛造で2次加工レスを実現！

マツダでは金型も含む長年にわたる技術開発の成果として、冷間鍛造でも切削加工並みの高精度を実現。小ロット品の場合で±0.01mm、量産加工の場合で±0.02mmの寸法公差を実現します。

例えば下のワークをご覧ください。これはアルミをマツダの冷間鍛造技術により製造したレゴブロック。



±0.01mmの高精度寸法！

アルミのレゴブロックは±0.01mm程度の精度がでていなければ、レゴとしての接合が不可能です。つまりこれは当社の技術力を証明するためのサンプルワークなのです。

本ニュースに関するお問合せは、下記までお気軽にどうぞ！



【お電話・FAXでのお問合せ】

TEL：06-6968-4981 FAX：06-6968-4932
担当：深水（ふかみず）・横田（よこた）

【Webサイト経由でのお問合せ】

検索エンジンで「冷間鍛造 マツダ」と検索ください！
<http://matsuda-fastener.co.jp/>

編集後記：業務部 横田より

皆様、最後までお読みいただき、ありがとうございます。深水とともに業務部で営業対応をさせていただいている横田です。私の趣味はお菓子づくり。中でもチーズケーキが得意です！もし当社にお越しいただければ、食べていただけるチャンスがあるかも！

来月もマツダ冷間鍛造技術ニュースのご購読、よろしくお祈りいたしますね！

